

## 新冠小学校で賑やかな豆まき

### 節分に2体の鬼が学校訪問



2月3日の節分に、新冠小学校に鬼がやってきました。訪れたのは、開校前の朝日小学校に毎年現れていた鬼と、児童にとつてどこか見覚えのある鬼の2体です。鬼が教室に入ると、児童は大きな声を上げながら、豆に見立てたチヨコレートを鬼に向かって投げました。時間が経つにつれて児童は鬼と仲良くなり、最後は笑顔で記念写真を撮りました。

## 企業版ふるさと納税を活用し

### 苦小牧信用金庫が100万円を寄附



2月5日、苦小牧市の苦小牧信用金庫（久保田順司理事長）より、当町が掲げる「思いやりと笑顔あふれるまちづくり事業」に対し、100万円の寄附をいただきました。寄附は今年度で4年連続となります。久保田理事長は、「職員は新冠町民として暮らしており、町民の皆さまに支えていただいている感謝の気持ちから寄附しました。」と話されました。

## 日本女子大学の学生が来町

### まちづくり提案を発表



2月24日から3日間、高町村会と相互連携協定を結ぶ日本女子大学の学生が来町しました。今回は、新冠町の収蔵レコードの活用や、レ・コード館の認知度向上をテーマとした課題解決型フィールドワークで、学生はレ・コード館を中心に見学したほか、音楽を活用した社会教育事業に参加し、最終日には町長らの前で事業型提案を発表しました。

## レコードとピーマンのまちが

### 小学生雪合戦大会で優勝



3月1日、札幌市の滝野すずらん丘陵公園で開かれた「滝野小学生雪合戦大会」で、新冠町の「レコピージュニア」が優勝しました。この大会には平成21年度から町子ども会育成連絡会議が参加児童を募って出場しており、今年も9人で大会に挑みました。大会では練習の成果を発揮して前回優勝チームを破り、3年ぶりの優勝を果たしました。

## 防災講演会を開催

### 大川小の教訓を学ぶ



2月15日、町はレ・コード館シアターで防災講演会を開催し、約100人が来場しました。講師に宮城県石巻市「大川伝承の会」共同代表の鈴木典行氏を招き、東日本大震災の津波で多くの児童と教員が犠牲となった大川小学校の当時の状況や避難行動について、くわしくお話しいただきました。鈴木氏は避難訓練の重要性に触れ、安全な場所と避難経路を事前に確認する必要があると強調し、「自分で命を守る行動をとることが必要」と訴えました。

まちの  
**話題**  
あれこれ

## 沖縄県金武町の

### 中川区子ども会が来町



2月20日、町が少年国内研修で交流している沖縄県金武町中川区子ども会の児童生徒18人と引率者7人が来町し、レ・コード館で歓迎交流会が開催されました。同子ども会は3年に1度来町しており、交流会には町側の今年度と昨年度の国内研修交流事業参加者や保護者が参加しました。

交流会では新冠判官太鼓と金武町中川区子ども会によるエイサーが披露されました。児童生徒は沖縄での交流会以来の再会を喜び、お互いの交流を深めました。

## 田中陽希氏が語る挑戦と自然観

### プラスワンセミナー開催



2月7日、町はレ・コード館でプロアドベンチャーリーダーの田中陽希氏を招き講演会を開催し、約220人が来場しました。講演では「日本百名山ひと筆書き」など自身の挑戦について語られ、新冠町でのエピソードも紹介されました。また、山林へのメガソーラー設置について触れ、「自然環境に人の手を加えないことが大切」との考えを示しました。

## 新冠町と昭和音楽大学が共演

### 第21回パートナーシップコンサート



2月14日、町と昭和音楽大学によるコンサートが開かれ、約200人が来場しました。コンサートは町内3団体と昭和音楽大学が共演し、音大出演者の多くは昨年に続いての出演となりました。ステージでは来場者に「おかけり」と声をかけてほしいと求める和やかな場面もありましたが、演奏が始まると迫力と品格を備えた音色が来場者を魅了しました。

## 重賞制覇の栄誉をたたえる

### 令和7年優勝馬を表彰



2月5日、日高振興局は昨年のスプリングスターズS(GI)を制したウインカーネリアン号の生産牧場(コスモヴェユファーム)を表彰しました。また、2月2日には、新冠町軽種馬生産振興会がレ・コード館で令和7年重賞レース優勝馬表彰式を行いました。令和7年の重賞優勝馬は26頭(20牧場)となり、出席した生産者に表彰状が贈られました。



新冠町軽種馬生産振興会 中央競馬重賞レース優勝馬表彰



新冠町軽種馬生産振興会 地方競馬重賞レース優勝馬表彰